



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 不二硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 5212 URL <https://www.silicox.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小熊 信一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 高濱 英司

TEL 03-3617-5111

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,509	5.4	158	35.5	169	32.0	104	31.1
2023年3月期第2四半期	1,432	9.9	117	40.1	128	33.3	79	28.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 399百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	50.87	
2023年3月期第2四半期	38.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	4,809	3,506	70.9	1,657.96
2023年3月期	4,885	3,525	70.2	1,669.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,408百万円 2023年3月期 3,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				7.50	7.50
2024年3月期					
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	1.5	125	10.1	150	10.5	95	13.5	46.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,142,000 株	2023年3月期	2,142,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	86,293 株	2023年3月期	86,293 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,055,707 株	2023年3月期2Q	2,055,714 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの2024年3月期第2四半期の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が一段と進み経済の回復が期待される中、当社の主需要先である医薬品業界においては、新型コロナウイルス感染症による医療機関への受診抑制状況が見られる影響で、需要先において在庫調整傾向が続いており、第2四半期までの受注数は計画を下回りました。しかしながら、当社グループといたしましては、主力製品であるインフルエンザワクチン用容器「管瓶」のほか、今期の受注に備えるため前期後半より製品在庫の確保に努め供給した結果、売上高1,509百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

利益面につきましては、原油価格の高騰による製造資材の値上げ及び人件費の上昇を踏まえ、前四半期に実施した当社製品価格の改定とともに、稼働率・歩留まりの向上及び経費削減に取り組んだ結果、当第2四半期は、主力製品であるインフルエンザワクチン用容器「管瓶」の出荷時期も終盤となり、製品在庫が更新されたことに伴い製品価格改定による利益率の上昇効果は薄れてきましたが、営業利益158百万円（前年同期比35.5%増）、経常利益169百万円（前年同期比32.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益104百万円（前年同期比31.1%増）とそれぞれ増加し、年当初の連結業績予想を営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期利益とも上回りました。

<参考>

品目別連結売上高

品 目	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期	
	売上高（百万円）	構成比（%）	売上高（百万円）	構成比（%）
アンプル	172	12.0	197	13.1
管 瓶	1,137	79.4	1,170	77.6
そ の 他	123	8.6	141	9.3
合 計	1,432	100.0	1,509	100.0

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して75百万円減少し4,809百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物（純額）が57百万円、現金及び預金が14百万円、有価証券が12百万円及び機械装置及び運搬具（純額）が10百万円増加した一方で、投資有価証券が166百万円及び受取手形及び売掛金（純額）が11百万円減少したことによるものであります。

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して57百万円減少し1,302百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が39百万円、長期借入金が39百万円及び賞与引当金が30百万円増加した一方で、買掛金が105百万円及び繰延税金負債が65百万円減少したことによるものであります。

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して18百万円減少し3,506百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が89百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が112百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には554百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、95百万円（前年同四半期は108百万円の資金増加）となりました。これは主に仕入債務の減少が105百万円あった一方で、税金等調整前四半期純利益が169百万円及び減価償却費が29百万円及び賞与引当金の増加が30百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、122百万円（前年同四半期は48百万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入179百万円あった一方で、定期預金の預入による支出205百万円及び有形固定資産の取得による支出94百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、28百万円（前年同四半期は42百万円の資金減少）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出55百万円及び配当金の支払による支出15百万円があった一方で、新規の長期借入れによる収入100百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	611,144	625,307
受取手形及び売掛金(純額)	533,891	522,030
有価証券	266,198	278,232
商品及び製品	473,393	467,487
仕掛品	2,709	3,239
原材料及び貯蔵品	91,045	98,524
未収入金	40,312	44,949
その他	4,031	746
流動資産合計	2,022,727	2,040,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	327,109	384,567
機械装置及び運搬具(純額)	79,013	89,918
土地	442,518	442,518
建設仮勘定	8,277	7,160
その他(純額)	23,346	21,322
有形固定資産合計	880,265	945,486
無形固定資産	1,197	2,268
投資その他の資産		
投資有価証券	1,925,321	1,758,864
繰延税金資産	17,568	22,959
その他	44,360	44,972
貸倒引当金	△5,807	△5,307
投資その他の資産合計	1,981,442	1,821,489
固定資産合計	2,862,906	2,769,244
資産合計	4,885,633	4,809,762

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,968	47,515
1年内返済予定の長期借入金	90,200	95,600
未払法人税等	37,295	77,227
未払事業所税	7,409	3,690
賞与引当金	66,148	96,400
その他	143,771	138,520
流動負債合計	497,792	458,954
固定負債		
長期借入金	47,800	87,000
繰延税金負債	523,415	458,274
役員退職慰労引当金	155,869	160,142
退職給付に係る負債	106,739	109,739
資産除去債務	28,879	28,888
固定負債合計	862,704	844,043
負債合計	1,360,496	1,302,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	2,114,834	2,203,995
自己株式	△33,894	△33,894
株主資本合計	2,188,623	2,277,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,242,973	1,130,497
その他の包括利益累計額合計	1,242,973	1,130,497
非支配株主持分	93,540	98,484
純資産合計	3,525,137	3,506,765
負債純資産合計	4,885,633	4,809,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,432,524	1,509,173
売上原価	1,099,759	1,098,634
売上総利益	332,765	410,539
販売費及び一般管理費	215,531	251,686
営業利益	117,234	158,852
営業外収益		
受取利息	33	47
受取配当金	9,742	10,159
受取賃貸料	2,736	2,459
その他	2,799	2,457
営業外収益合計	15,311	15,123
営業外費用		
支払利息	534	582
賃貸費用	3,733	4,080
営業外費用合計	4,268	4,662
経常利益	128,277	169,314
税金等調整前四半期純利益	128,277	169,314
法人税、住民税及び事業税	45,351	74,462
法人税等調整額	△3,553	△15,720
法人税等合計	41,798	58,742
四半期純利益	86,479	110,571
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,736	5,994
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,742	104,577

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	86,479	110,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	312,606	△112,476
その他の包括利益合計	312,606	△112,476
四半期包括利益	399,085	△1,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,348	△7,898
非支配株主に係る四半期包括利益	6,736	5,994

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	128,277	169,314
減価償却費	28,697	29,227
賞与引当金の増減額 (△は減少)	95	30,252
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△462	△570
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16,230	4,273
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,845	2,999
受取利息及び受取配当金	△9,776	△10,207
支払利息	534	582
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,599	11,930
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△35,749	△2,103
未収入金の増減額 (△は増加)	7,596	△4,637
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,195	△105,452
未払金の増減額 (△は減少)	-	△211
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,537	17,300
その他	△8,454	△22,385
小計	112,433	120,310
利息及び配当金の受取額	9,774	10,205
利息の支払額	△522	△596
法人税等の支払額	△12,828	△34,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,856	95,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△180,077	△205,080
定期預金の払戻による収入	154,575	179,828
有形固定資産の取得による支出	△23,140	△94,782
無形固定資産の取得による支出	-	△1,280
投資有価証券の取得による支出	△810	△830
その他	586	△612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,868	△122,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△56,600	△55,400
自己株式の取得による支出	△45	-
配当金の支払額	△15,185	△15,235
非支配株主への配当金の支払額	△1,050	△1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,881	28,314
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,106	944
現金及び現金同等物の期首残高	641,139	553,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	658,245	554,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO)(注)の一環として行われる株式会社スカイによる当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨する旨を決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、本公開買付け及びその後の一連の手続により当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。また、当社は、上記取締役会において、本公開買付けが成立することを条件として、当社が2023年5月29日付で公表した「上場維持基準の適合に向けた計画」を撤回することを併せて決議しております。

詳細につきましては、2023年11月14日公表の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)「マネジメント・バイアウト(MBO)」とは、一般に、買収対象会社の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引をいいます。